

令和4年度教育活動方針

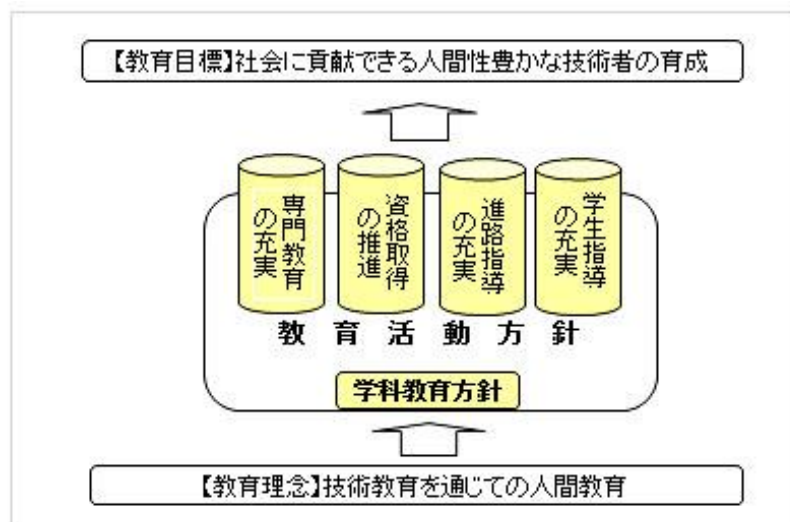
令和4年4月1日
岡山科学技術専門学校
校長 大月 秀之

I 教育理念

「技術教育を通じての人間教育」

II 教育体系

岡山科学技術専門学校では、専門教育の充実、資格取得の推進、進路指導の充実、学生指導の充実を教育活動方針の柱とし、社会に貢献できる人間性豊かな技術者の育成を目指している。併せて教育活動を継続的に改善するため、PDCA サイクルを活用している。基本的な流れとしては校長の定める教育活動方針及び学科で作成する学科ガイドブック(Plan)を基に、教育活動を実施(Do)、年度末に自己点検(Check)を行い、次年度の教育活動方針に反映(Action)させるという構成となる。PDCA サイクルの要となる自己点検は、教職員に対するアンケート方式で毎年末に行っており、令和3年度の結果は6ページの「VI(参考資料)令和3年度教育活動方針に従った評価項目の達成及び取り組み状況」にまとめた。



III 令和3年度教育活動方針の概要と結果

(1) 令和3年度の教育活動方針の概要

平成19年に学校教育法が大きく改正され、学力の要素が「知識・技能」、「思考力・判断・表現力」、「主体性・多様性・協働性」の三つに拡大された。この中の「主体性・多様性・協働性」は非認知能力と呼ばれ、ペーパーテストでは測ることができないスキルである。企業では往々にして勉強が出来る学生より、元気や社交性がある者の方が評価されることがあるが、非認知能力という言葉を使うと説明しやすい場合が多い。令和3年度入学生は、この新しい学校教育法の下で育った第一世代となるので、これを機会に非認知能力を伸ばす教育に取り組んでゆくことを主眼に置いた。学校としては以前より躰教育やあいさつ指導など社会人教育に力点を置いていること、また令和2年度自己評価から、教職員がこれらの項目に対して成果を感じていることが確認できたため、令和3年度のキーワードは「継続」に定め、あわせて重点目標を以下に定めた。

重点項目

1. 6S管理の徹底
学生が意欲をもって取り組む、わかりやすい授業を目指す
2. 専門教育の充実

- コロナ感染症の状況を見ながら、企業との連携およびインターンシップを積極的に進める
3. 学生指導の充実
学生とのコミュニケーションを促進し、信頼関係を構築することと、問題点を早めに見つけることを目指す
 4. 進路指導の充実
一人ひとりの適性に合わせた就職支援
企業訪問を積極的に行う
 5. 留学生の指導・支援の充実
日本語能力の向上
 6. 学生確保
募集広報課との情報交換の推進
オープンキャンパスの質的向上(歩留 65%目標)
 7. 教職員の資質・能力の向上
資格取得の奨励

(2) 結果

令和3年度は、あいさつやコミュニケーションの促進に力を入れたが、この点に関してはコロナ禍がプラスに作用した。感染予防対策として、学校出入口にて検温と手指消毒の確認を行ってきたが、その際積極的な声掛けを行ったことが効果的であったと考えている。

しかしながら、全体としてはコロナ禍がマイナスの影響を与えた項目が圧倒的に多かった。放課後すぐに教室を消毒する必要があるため、清掃がおざなりになった感は否めない。実習中の声掛け確認も、大声を出すことがはばかれる雰囲気であった。また、学生側、企業側ともにインターンシップを躊躇する場合が多かったし、教職員の企業訪問も憚られた。会議の回数も減り、部署間、学科間の連携も後退した。学生募集に関しても、日本人の募集については堅調に推移したが、留学生の新規入国が止まっており、令和3年度の日本語学科入学生は0名のままとまっている。現在、日本国内における日本語学科の在校生は非常に少数のため、今後コロナ禍が収束したとしても令和5年度の工業専門課程への留学生入学者は激減することは間違いない。

IV 令和4年度のキーワード<跳躍>

長期に亘るコロナ禍により、これまで積み上げてきた成果が大きく後退した部分があると感じている。今年度もコロナ禍が一挙に終息することは期待できないが、ウイズコロナで新しい生活様式も定着しつつある。今、科技専に求められるのは取り戻すべきこと、見直すべきこと、新規に始めるべきことを見極め、確実に前進することである。特に、取り戻すべきことに関しては、感染状況を見ながらになるが、培ってきた境地まで一気にジャンプすることを目指し、キーワードは「跳躍」としたい。

V 令和4年度教育活動方針の重点課題

1 6S管理の徹底

(1) 項目ごとの概要

- ① 職員室（事務室も含む）の整理整頓
全般には向上しているが、もう一步の改善を目指す
- ② HR教室の整理整頓
整理整頓清掃の徹底
- ③ 高柳校舎実習場、昭和町校舎実習場の整理整頓清掃
整理整頓清掃の徹底
- ④ 学生が意欲をもって取り組む、わかりやすい授業
全般には向上しているが、もう一步の改善を目指す
- ⑤ 授業、校外実習において、事故の無いよう細心の注意を払う
事故の無い授業
- ⑥ 挨拶や授業態度などのマナー、躰教育に継続的に取り組む
全般には向上しているが、もう一步の改善を目指す

- ⑦ 安全を意識した指導の徹底
オンライン授業を含め安全を意識した指導

(2) 重点課題

教室および実習室の整理整頓清掃の達成状況が後退している。令和4年度は、机、ノブなどの殺菌消毒を適切に行い、教育環境を向上させることを重点課題としたい。

2 専門教育の充実

(1) 項目ごとの概要

- ① 教える内容を精査し、基礎・基本の定着を図る
全般には向上しているが、もう一步の改善を目指す
- ② 個々の能力を伸ばすため、学生が主体的に学ぶ授業を工夫
分かりやすい、興味を持たせるような教材の工夫
- ③ 職業教育の充実に向けた取り組みを計画的に行う
学科ごとに定期的なミーティングの実施
- ④ 身に付けさせる能力について学科内で話し合う
学科ごとに定期的なミーティングの実施
- ⑤ 企業と連携した実習を効果的に行う
感染状況を見ながら積極的に実施
- ⑥ 企業と連携したインターンシップを効果的に実施する
感染状況を見ながら積極的に実施
- ⑦ 目指す資格を明確にする
ほぼ明確になっている
- ⑧ 学科を挙げた組織的な指導
学科、グループごとに定期的なミーティングの実施

(2) 重点課題

社会の変化に対応できる実践的教育を目的に、企業との連携やインターンシップを実施してきたが、令和2,3年度はコロナの影響もあり十分に行うことができなかった。令和4年度は、感染状況を確認しながらこれらの項目を積極的に進めたい。

3 学生指導の充実

(1) 項目ごとの概要

- ① 挨拶の徹底
全般には向上しているが、自主的な挨拶を増やす
- ② 授業を工夫して学ぶ意欲の高揚を図る
学生のレベルを確認し、教育内容を改善する
- ③ 真面目に授業を受けるように指導
絶えず指導方法の改善に取り組む
- ④ 個人面談や声掛けを重視し学生把握に努める
他部署との連携を含め、学校全体で取り組む
- ⑤ 保護者との連携を密にしてきめ細やかな指導を行う
留学生の指導は国際課等と連携して行うなど、一層の向上を目指す
- ⑥ 禁煙指導や感染症予防等の健康管理に努める
留学生の喫煙率が高いので、国際課等と連携して禁煙指導に努める

(2) 重点課題

保護者との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立や授業を大切にする指導を行ってきたが、共働き家庭や留学生の増加により従来通りの対応が難しくなっている。他部署との連携を含め、問題点を早めに見つけることを目指したい。

4 進路指導の充実

(1) 項目ごとの概要

- ① 進路指導課と学科の連携強化

一人ひとりの適性を生かす就職支援を推進するため、一層の連携を図る

- ② 企業訪問を積極的に行う
感染状況を見ながら積極的に進める
- ③ 一般教養の充実
特に留学生に対し改善の余地あり
- ④ ビジネス教養の充実に努める
特に留学生に対し改善の余地あり
- ⑤ 卒業生の動向確認
同窓会、企業後援会との連携を密にし、就職支援に役立てる
- ⑥ 同窓会と連携した職場定着を目指す
同窓会、企業後援会との連携を密にし、職場定着に役立てる

(2) 重点課題

一人ひとりの適性に合わせた進路指導を行うため、進路指導課と学科との連携を密にし、企業訪問等を積極的に行いたい。

5 留学生の指導・支援の充実

(1) 項目ごとの概要

- ① 日本語能力向上のための組織的、計画的な指導
特に会話力の向上
- ② 進学指導の充実
部署間の連携の促進
- ③ 専門科目の指導の充実
分かりやすい授業を目指す
- ④ 就職に向けたガイダンスやインターンシップの実施
部署間の連携の促進
- ⑤ 生活実態の把握と支援
部署間の連携の促進
- ⑥ 文化や言語の理解を深めるための研修
行事参加の機会を増やす

(2) 重点課題

留学生の日本語会話力、コミュニケーション力の充実に努めたい。

6 学生確保

(1) 項目ごとの概要

- ① 多角的な情報分析、計画的な高校訪問等が出来ているか
部署間の連携の促進
- ② 広報企画課と学科との情報交換を密にし、学科情報の効果的発信に努めているか
部署間の連携の促進
- ③ オープンキャンパスの充実に図り歩留率の向上に努めているか
他学科の成果を参考にし、一層の充実

(2) 重点課題

コロナ禍のため日本語学科留学生の入国は難しい状況が続いているが、日本人の令和4年度入試出願者は、前年度に引き続き堅調であった。広報企画課との情報交換を推進し、一層の日本人入学者増を目指したい。

7 教職員の資質・能力の向上

(1) 項目ごとの概要

- ① 年三回の教職員面談
全体的に向上している
- ② 校内の教職員研修、企業研修への積極的参加
感染状況を見ながら積極的に進める

③ 公開授業の充実

感染状況を見ながら積極的に進める

④ 資質能力、指導力向上のための資格取得への挑戦

積極的に奨励する

(2) 重点課題

オンラインや少人数での実施など開催方法を工夫し、教職員研修を積極的に実施したい。

VI (参考資料) 令和3年度教育活動方針に従った評価項目の達成及び取り組み状況

表の数字の、左欄は自己評価の平均値、右欄は肯定的人数（「4：適切」または「3：ほぼ適切」と答えた人数）の割合（%）を示す。また、（ ）内の数字は昨年度の値を示す。なお、数字左の記号で、○は平均値が0.2以上アップかつ割合が10ポイント以上アップ。△は平均値のみ0.2以上アップ。●は平均値が0.2以上ダウンかつ割合が10ポイント以上ダウン。▲は平均値のみ0.2以上ダウン。割合右の矢印で、↑は2年以上連続アップ、↓は2年以上連続ダウンを示す。

1. 6S管理の徹底

評価項目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	職員室（事務室も含む）の整理、整頓はなされている	3.2 (3.2)	86.0% (88.0)
2	HR教室の整理、整頓、清掃はなされている	●2.9 (3.1)	70.0% (84.3)
3	実習工場（高柳）、実習室（昭和町）の整理、整頓、清掃はなされている	●3.0 (3.2)	79.2% (91.8)
4	授業（実習・座学）は学生が意欲を持って取り組む、わかりやすいものを目指して日々工夫をしている	3.0 (3.0)	85.1% (87.5)
5	授業、校外研修等において、常に細心の注意を払い、事故のない指導を心掛けている	3.3 (3.2)	93.9% (91.7)
6	授業始業時、終了時のあいさつや授業態度の指導など、マナー、躰指導に継続的に取り組んでいる	3.1 (3.2)	79.2% (89.8)
7	安全を意識した指導を徹底している	3.4 (3.4)	96.0% (95.9) ↑

ご意見、お気づきの点

- ・度重なる指導を行っても改善が見られない学生に苦慮している。

2. 専門教育の充実

評価項目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	教える内容を精査し、基礎・基本の定着を図っている	3.1 (3.2)	91.8% (89.4)
2	個々の能力を伸ばすため、学生が主体的に学ぶ授業の工夫に努めている	2.9 (3.0)	79.6% (84.8)
3	認定学科として、職業教育の充実に向けた取組が、計画通り進んでいる	2.9 (3.0)	80.9% (83.0)
4	身に付けさせる能力について、学科教員との話し合いに努めている	2.9 (3.0)	75.0% (89.4)
5	企業と連携した実習は効果的に行っている	●3.0 (3.2)	75.0% (91.5) ↓
6	企業と連携したインターンシップは効果的に実施できている	▲2.8 (3.0)	70.2% (77.8)
7	目指す資格を明確に示している	3.4 (3.5)	94.0% (96.0) ↓
8	学科を挙げた組織的で徹底した指導を行っている	3.2 (3.3)	84.0% (91.7)

ご意見、お気づきの点

3. 学生指導の充実（学科教員間の意思の疎通、保護者や関係機関との連携）

評価項目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	あいさつの徹底（思いやりの心を育む）に努めている	3.3 (3.3)	90.2% (88.2) ↑
2	授業の工夫・改善に努め、学ぶ意欲の高揚を図っている	▲2.9 (3.3)	80.0% (85.7)
3	真面目に授業を受ける指導を行っている	3.0 (3.1)	84.0% (81.6)
4	個人面談や声掛けを大切にし、学生把握に努めている	▲3.1 (3.3)	84.3% (93.9)
5	電話連絡や家庭訪問等で保護者との連携を密にし、きめ細かい指導を行っている（進級率・卒業率 95%）	▲2.8 (3.0)	73.5% (79.6)
6	禁煙指導や感染症の予防等の健康管理、気になる学生の支援に努めている	3.1 (3.2)	80.4% (86.0)

ご意見、お気づきの点

- ・学生を対象にした禁煙セミナーを行ってはどうか。

4. 進路指導の充実（進路指導課と学科との連携）

評価項目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	就職指導の充実に向け、進路指導課と学科の連携ができている（内定率 100%）	3.0 (3.1)	81.3% (85.7)
2	企業訪問を積極的に行っている	●2.5 (2.8)	48.9% (64.6)
3	一般教養の充実に努めている	2.7 (2.8)	62.3% (75.5)
4	ビジネス教養の充実に努めている	2.8 (2.8)	72.9% (77.6)
5	進路指導課と学科の連携を強化し、就職支援と卒業後の離職等も含めた動向確認に努めている	2.9 (2.9)	74.5% (75.0)
6	就職先企業や企業後援会、同窓会との連携を図り、卒業生の職場定着に努めている	●2.7 (2.9)	61.7% (75.0)

ご意見、お気づきの点

- ・学科に委ねられている部分大きい。
- ・同窓会との連携は、まだ不十分である。

5. 留学生の指導・支援の充実（在学生の把握の徹底と卒業生の把握）

評価項目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	日本語能力向上に向けた組織的、計画的な指導に努めている	2.7 (2.8)	63.8% (69.4)
2	進学指導の充実のため、ガイダンスや専門学科の授業見学が、組織的に行われている	2.7 (2.8)	65.2% (63.3)
3	専門科目をわかりやすくするための指導方法の工夫がなされている	▲2.6 (2.8)	67.4% (63.3)
4	就職に向けたガイダンスやインターンシップの実施が、組織的に行われている	2.9 (2.9)	74.5% (76.6)

5	生活実態（出欠、アルバイト、宿舎等）の把握に努めている	3.0 (3.1)	87.5% (84.0)
6	文化や言語の理解を深めるための研修が行われている	▲2.2 (2.4)	37.5% (41.7)

ご意見、お気づきの点

- ・留学生と日本人の相互理解が深まっていない。

6. 学生確保

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	多角的な情報分析、計画的な高校訪問など、学生確保に努めている	2.7 (2.8)	63.0% (65.3)
2	広報企画課と学科との情報交換を密にし、学科情報の効果的な発信に努めている	2.5 (2.6)	55.3% (57.1)
3	オープンキャンパスの充実を図り、歩留まり率向上（65%以上）を目指している	3.1 (3.0)	85.1% (72.0)

ご意見、お気づきの点

- ・対面で意見を出し合うコミュニケーションの場が必要ではないか。

7. 教職員の資質・能力の向上

評 価 項 目		4：よい 2：やや不十分	3：ほぼよい 1：不十分
1	3回の面談（当初、中間、最終）等で意見交換ができています	3.1 (3.2)	86.3% (88.0)
2	校内教員研修や企業研修会等に積極的、計画的に参加している	○3.0 (2.8)	78.0% (68.0)
3	公開授業、授業見学が計画的に行われ、授業改善に努めている	▲2.6 (2.9)	64.6% (71.1) ↓
4	資質、指導力向上のため資格取得に挑戦している	2.6 (2.7)	58.0% (61.2)

ご意見、お気づきの点

- ・意見交換されているが、それが活かされていない。
- ・教職員は日常的に、学校の様子に意識を向けるべきではないか。
- ・可能であれば、教職員研修を増やしてほしい。全員の日程を合わせるのは難しいので、少人数の分科会を多数できればなおよい。